

はじめに

私たちの実現したい未来 理事長挨拶



私たちの実現したい未来

土に根差し 共に育つ たくましい地域を次世代へ
耕そう！遊ぼう！つかみ穫ろう！東京の田畑で育つ生きる力

都心から車で20分、中央高速道路国立府中インター直下の谷保地域に広がる田んぼと青い空。開放的で豊かな空間は、地域や子どもたちにとってはもちろんのこと、人が生きる上で大切な資源です。

身近な自然環境としての農地が存在することは、子どもたちの心身の成長、自尊心の向上を助けると共に、四季を感じさせる風景が地域住民を癒し、防災拠点などの活動の場としても大きな意義を持っています。

私たちのコミュニティ農園には、毎年約9,000名を超える方々が訪れ、子どもたちも大人も農に親しみ、そして

思い切り遊び、時にはぶつかり合いながらも、日々共に成長しているのを目にし、感じています。

しかし、都市の農地は住宅に囲まれ、農業者の高齢化、相続税など一個人では到底変革しえない大きな課題を抱えています。国立市の農地も同じく、特に水田はこの30年で85%減少しており、今も住宅開発が進んでいるのが現状です。

この価値ある環境を活かし、子どもたちの成長を支援すると同時に、土や自然が豊かに残る地域を目指しています。

理事長挨拶

みんなで分かち合い、助け合う地域を作ろう！

コミュニティ農園「くにたち はたけんぼ」は、開園より10年以上の時間が経ち、2026年にはNPO法人化10周年を迎えます。いまでは地域に5つの事業所を抱えるNPO法人として活動の幅が広がってまいりました。



学生時代より関わりを持ち、自分自身の居場所としての農地・団体が、いまでは毎年累計1万人を超える人が訪れ、多くの方の居場所の一つになっています。2013年くにたちはたけんぼ開園当初まだ幼かった子どもたちが、いま次世代の子どもたちを見守り、育てる側へと成長しているのを目の当たりにし、我々の土に根差した地道な歩みが確かなものであったと感じています。法人としても10周年を迎えますが、大事にしている活動の根本は変わりません。土に根差し、目の前の人と向き合い、私たちに与えられている環境資源を保全し、繋げ、分かち合っていくこと。そして、楽しむ

こと。その結果として、今の活動の拡がりがあると思っています。社会が大きく変化していく中で、常に変化する自然を感じながら、田畑を耕し、文字通り、地に足を付けていくこと。一見非効率に思えるような身体性を持った活動を続けていくことが、なによりも今後の社会において大事になると確信しています。時にぶつかり合いながらも、お互いを尊重し合い、歩み寄り、助け合っていける力強い地域・社会を一緒につくっていきましょう。

NPO法人くにたち農園の会
理事長 武藤 芳暉

武藤 芳暉

沿革 「くにたち農園の会」のあゆみ

わたしたち「くにたち農園の会」は、国立市の農業・農地を活かしたまちづくりに取り組む市民活動として2012年にスタートしました。

農の営みによって守られてきた豊かな自然環境と文化を今の時代に合った形で生かし、「農体験」「子育て」を2本柱に田畑とつながる子育て支援、多様な人々への農や自然体験の提供に取り組んでいます。



国立市の歴史

豊かな水源に恵まれて、縄文時代から人々が集まり、農業を営んできた谷保村（現在の国立市谷保地域）。多々の湧水や多摩川から引き入れた水からなる府中用水や田んぼは、貴重な野生生物の棲家となり、そこに集まる野鳥などの生態系の基盤となっています。

また、稲作を中心とした農家の人々の営みが生態系を支え、そこには自然と人々が支えあう暮らしが息づいてきました。昭和初期以降は、一橋大学、国立音楽大学などが創立。1952年には国立市の前身である国立町が文教地区に制定され、自然と学園都市とが融合した独自の発展を遂げています。

〈国立市 年表〉

古墳時代 下谷保第一号墳 四家在家遺跡
平安時代 谷保天満宮建立(903年)
鎌倉時代 城山、都史跡三田氏館跡(津田三郎為守)
江戸時代 「本田本家」谷保に移住。(重要文化財「薬医門」)
大正時代 箱根土地(株)による100万坪開発はじまる
1926(昭和元年) 国立駅開業
1927(昭和2年) 東京商科大学(現一橋大学)専科移転
1951(昭和26年) 谷保村が国立町になる(町制施行)
1967(昭和42年) 国立町が国立市になる(市制施行)
2003(平成15年) ママ下湧水群、常盤の清水、矢川緑地が「東京の名湧水57選」に選ばれる
2006(平成18年) 府中用水が全国疎水百選に選ばれる

参考：国立市観光ガイドマップ



古墳時代（4世紀末）

谷保に集落ができる。人々は農耕を中心に生活

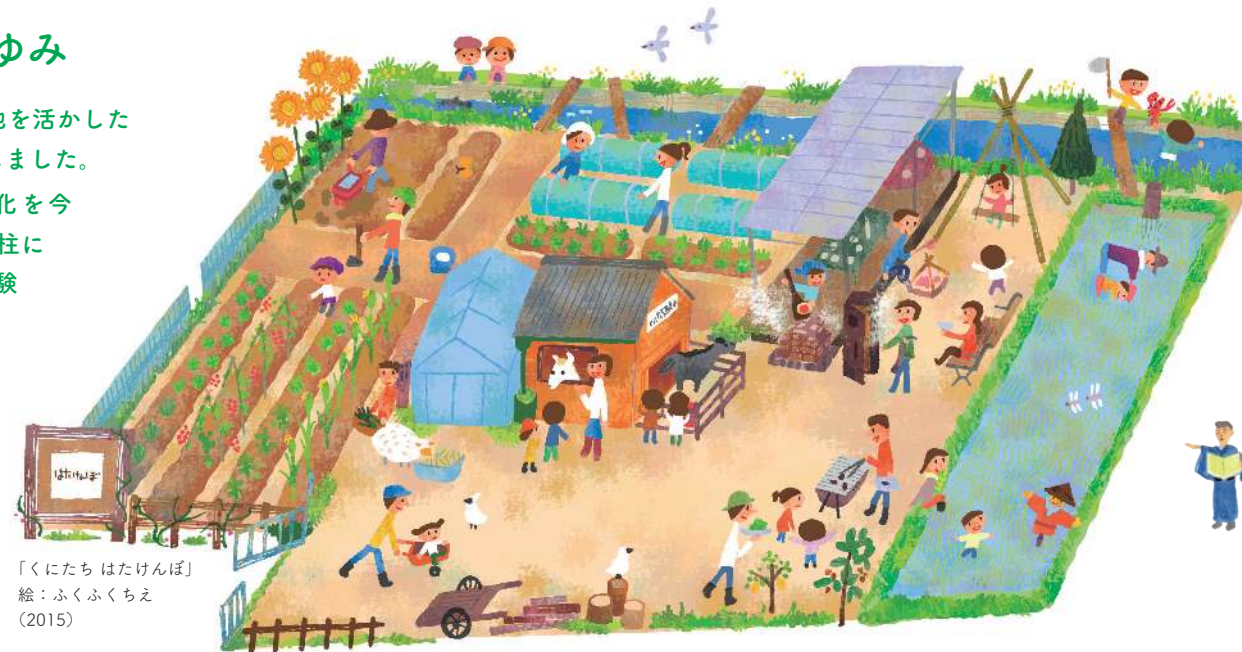
縄文時代中期（紀元前4000年頃）

顔面把手付土器、緑川東遺跡出土の石棒などから、この頃から谷保に人々が定住していたとされる

所蔵：くにたち郷土文化館



所蔵：国立市



「くにたち はたけんぼ」
絵：ふくふくちえ
(2015)

「くにたち農園の会」概要

名称：特定非営利活動(NPO)法人 くにたち農園の会
本部事務局：〒186-0011 東京都国立市谷保5119(やばろじ内)
設立時期：特定非営利活動法人内閣府認証取得 2016年12月2日
登記完了：法人設立2016年12月15日
理事長：武藤 芳暉 理事：5名 監事：1名
会員：(正会員及賛助会員) 155名(2026年5月)
事業所：計5ヶ所



2013年 コミュニティ農園「くにたちはたけんぼ」開園

- 森のようちえん「谷保のそらっこ」開始
- 年間親子田んぼ体験開始

- 2012年 任意団体「くにたち市民協働型農園の会」設立
- 2011年 国立市「農業・農地を活かしたまちづくり」事業協議会にて市民が運営する新しい農園モデルを検討
- 2010年頃 宅地開発により農地が減少。2010年には、国立市の田んぼの面積が1989年の4分の1に減少
- 1970～2010年頃 主な産業は農業・養蚕業。明治33(1900)年の記録では、谷保の人口の85%が養蚕業を営んでいた

受賞歴

- 2017年 (公社)程ヶ谷基金「平成29年度 男女共同参画・少子化関連顕彰事業活動賞」受賞。
- 2020年 多摩信用金庫「多摩ブルーグリーン賞たまみらい賞」受賞
- 2021年 農林水産省関東農政局「ディスカバー農山漁村の宝」優良事例認定
- 2022年 しんきん圏央道アライアンス、圏央道の宝物グランプリ 2022-2023 準グランプリ
- 2024年 Airbnb コミュニティ基金 チャリティ・エイド財団(CAF) 認証取得 産直ドミノ基金®アワード2024



主な助成・交付金実績一覧

- 農林水産省「農ある暮らしづくり交付金・農泊推進事業交付金」
- 一般社団法人セブンイレブン記念財団「環境市民活動助成(NPO 基盤強化助成)」
- 一般社団法人ハウジングアンドコミュニティ財団「住まいとコミュニティづくり活動助成」
- 第一生命財団「待機児童対策・保育所等助成事業」
- 日本財団「2021年度助成」
- 東京都産業労働局「保育園等による木育活動の支援事業～保育園・幼稚園等で木育を進めよう！～」
- 国立青少年教育振興機構「子ども夢基金」
- 公益社団法人国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」
- 独立行政法人福祉医療機構「WAM 助成」
- 東急財団 2024年度 多摩川の美しい未来づくり助成
- 東京都フリースクール等支援事業補助金
- 東京都「生産緑地を活用した体験農園普及事業」



- 2026年 ●「みんな畑」「畑の家」事業を「暮らしのアトリエ 藍と土」へ名称変更
- 2025年 ●認定こども園「かえるの森」へ名称変更
- 2021年 ●子どもの第3の居場所「フリースペースはたけんぼ」事業開始
- 「旅するがっこう」事業開始
- 2020年 ●認定こども園事業開始
- コミュニティ菜園「みんな畑」、レンタルスペース「畑の家」開設
- 新型コロナウイルスによる自宅待機期間中、平日午前中「くにたちはたけんぼ」を「おるすばんクラブ」として開放

- 2019年 ●学生団体「たまこまち」と協働で、ゲストハウス「ここたまや」の民泊事業開始
- 都市農地賃借円滑化法により水田が拡大
- 「お蚕フレンズプロジェクト」開始
- 2018年 国立市地域子育て支援拠点事業を国立市より受託。「つちのこひろば」開始
- 2017年 ●古民家シェアスペース「やばろじ」に入居
- 田畑とつながる子育て古民家「つちのこや」「つちのこ食堂」開設

2016年 特定非営利活動法人「くにたち農園の会」設立

- 2015年 「はたけんぼ放課後クラブニコニコ」開始
- 2014年 ●「くにたちはたけんぼ」現在地に移転
- リトルホースとふれあう会「くにたち馬飼舎」受入



- 2026年 ●「みんな畑」「畑の家」事業を「暮らしのアトリエ 藍と土」へ名称変更
- 2025年 ●認定こども園「かえるの森」へ名称変更

- 2021年 ●子どもの第3の居場所「フリースペースはたけんぼ」事業開始
- 「旅するがっこう」事業開始

- 2020年 ●認定こども園事業開始
- コミュニティ菜園「みんな畑」、レンタルスペース「畑の家」開設
- 新型コロナウイルスによる自宅待機期間中、平日午前中「くにたちはたけんぼ」を「おるすばんクラブ」として開放

- 2019年 ●学生団体「たまこまち」と協働で、ゲストハウス「ここたまや」の民泊事業開始
- 都市農地賃借円滑化法により水田が拡大
- 「お蚕フレンズプロジェクト」開始

- 2018年 国立市地域子育て支援拠点事業を国立市より受託。「つちのこひろば」開始

- 2017年 ●古民家シェアスペース「やばろじ」に入居
- 田畑とつながる子育て古民家「つちのこや」「つちのこ食堂」開設

2016年 特定非営利活動法人「くにたち農園の会」設立

- 2015年 「はたけんぼ放課後クラブニコニコ」開始
- 2014年 ●「くにたちはたけんぼ」現在地に移転
- リトルホースとふれあう会「くにたち馬飼舎」受入



ハケと湧水・用水

立川市から国立市南部、さらに府中へ続くハケと呼ばれるグリーンベルト(崖線)の下にはたくさんの湧水が湧き出ています。都市化による用水の暗渠化が進む中、現在も水草が茂る手掘りの水路「府中用水」は、農林水産省の疎水百選に選ばれました。



トウキョウダルマガエルは絶滅危惧IB類(EN)、ニホンアマガエルは準絶滅危惧(NT)、オオタカは東京都(本土部)の絶滅危惧IB類(EN)です。<ともに、東京都レッドデータブックによる>

周辺環境



⑤ 認定こども園 かえるの森

国立富士見台団地内、大きなケヤキの木がシンボルの「みなみはらっぱ」に佇む青い園舎。市役所・総合体育館・市民芸術小ホールなど、市の主要施設が集まるエリアに隣接しています。

← 立川方面



南武線

5つの事業所と周辺環境

東京都全体の中央に位置する国立市。街の中心を南北に大学通りがのび、JR 中央線「国立駅」と南武線「谷保駅」をつないでいます。北部は一橋大学をはじめとする文教都市として知られ、南部には関東三大天神の一つに数えられる谷保天満宮や、縄文遺跡、田園地域があります。「くにたち農園の会」の活動拠点は、南部の谷保地域を中心に市内5箇所。谷保地域には手掘りの用水が流れる田んぼと畑の風景が残り、農の営みが生き物の暮らしを支える昔ながらの循環と、現代の暮らしが共存しています。

矢川緑地

← 立川方面

くにたち郷土文化館

ママ下湧水

おんだし

城山公園

府中用水

田園地帯

谷保天満宮

ハケ（崖線）

① くにたちはたけんぼ

畑+ハケ+田んぼ＝「はたけんぼ」は、国立府中インターから1分のところにあります。農的な活動の他に、焚き火、BBQ、魚取り、ピザ、どろんこ遊びなどができ、子どもから大人まで年間9,000人以上が訪れるコミュニティ農園です。

国立府中に方面↓

JR国立駅

一橋大学

大学通り

国立市役所

JR谷保駅

旅するがっこう

国立から飛び出して、遠くへ行く企画が満載。北海道で思いっきり雪遊び、馬との暮らし、多摩川上流で力を合わせて川下り！身近な自然から大きな自然まで、多様な体験を楽しめます。

シュノーケリング

ラフティング

北海道自然体験

川崎方面→

②

「つちのこひろば」& 「くにたち農園の会事務局」 （やばろじ内）

甲州街道沿いの江戸初期から続く旧家「本田家」の一角にある古民家シェアスペース「やばろじ」。この広い庭と池のある築約70年の母家の大きな和室にて、国立市地域子育て支援拠点事業「つちのこひろば」を運営しています。



本田家薬医門

③

暮らしのアトリエ 「藍と土」

やばろじの路地に入ってすぐの「みんな畑」と「アトリエ」。「本田家（本家）」の屋敷林に囲まれた静かな空間には、コミュニティ菜園と伝統の藍染や昔ながらの手仕事営まれているアトリエがあります。

④

ゲストハウス ここたまや

「ここたまや」は、かつて地元農家の貸アパート「福寿荘」だった建物をリノベーションした学生が運営するゲストハウス。谷保地域の農業観光の拠点となっています。

新宿方面→

甲州街道

事業紹介



田畑で人生の大半を過ごし、子育てをし…というのは日本で暮らす多くの人が積み重ねてきた生き方です。四季折々の行事や言葉もその中で育まれてきました。国立市谷保に残された田畑を最大限に生かし、人々の心身に刻まれる農体験を創るのが私たちのミッションです。これからの時代を生き抜く次世代のみなさんに良い形で歴史、文化のバトンをつないでいこうと思います。



くにたち農園の会には大きく分けて2つの事業があります。1つは農園の運営を軸に、様々な農体験プログラムを提供する「農園事業」。もう1つは0歳～小中学生までを対象とした教育・子育て支援活動を行う「子育て事業」です。

「育てる」から「作る」「食べる」までを一貫体験 農体験プログラム



稲作・畑体験

親子を対象とした田植え・稲刈り・収穫祭の全3回の「親子田んぼ体験」、大人だけで田んぼの1年を贅沢に楽しむ「大人の田んぼ倶楽部」、小麦・夏野菜などの作付から畑の管理と収穫、「いただきます」までを一貫して体験する様々な畑のプログラム。餅つきやしめ縄づくりなどの稲作文化体験も。



草木染め・養蚕・クラフト体験

畑で育てた藍や植物、国立の桜で藍染・草木染め、お蚕さんとの暮らしを楽しむ「お蚕フレンズプロジェクト」、綿を育てての糸紡ぎ&機織りなどの農からつながるクラフト体験。他にもさまざまなイベントを開催しています。



この2つの事業は共に連携し、地域や行政、他の団体や企業と関わりながら活動を行なっています。ここでは、2つの事業で展開されている10の活動内容を紹介します。

各事業についての詳しい内容は、QRコードよりご覧ください

認定こども園 かえるの森



「わたしらしく、のびやかに」五感をつかって自然を感じ・異年齢の仲間と関わりながら・のびのびと遊び学び育っていく。そんな子どもたちの「いま」を、大切にしています。
対象：満3～5歳児



国立市地域子育て支援拠点事業 つちのこひろば



気軽に立ち寄れる親子の居場所とし、「あそぶ・まなぶ・つながる」場を提供。わらべうたや表現遊びの他、公園での出張ひろばも実施。
対象：乳幼児親子
場所：やばろじ(つちのこや) 城山公園等



「くにたち農園の会」のホームページは
こちらからどうぞ



子育て事業

子育て事業代表 佐藤有里

生まれてくる命に出会えることの喜びを大切に、地域の中で子どもたちの育ちを支えてきました。この10年の積み重ねの中で、子どもも大人も安心して過ごせる場が広がっています。裸足で土にふれ、その温かさややわらかさを感じる。風や光の中で過ごす実体験が、子どもたちの「やってみたい」という気持ちを育てます。乳幼児から小中学生、さらに高校生や大学生も関わりながら、さまざまな事業が場所と人に合うかたちでつながり、一人ひとりに合った関わりや居場所が生まれています。地域とともにある子育ての中で、これからも自分らしく生きていける力を育んでいきます。



コミュニティ農園 くにたちはたけんぼ



毎年9000名以上が訪れ、「くにたち農園の会」の代名詞といえる農園。烏骨鶏や馬、ヤギなどを飼育。用水には蛙や魚が生息し、農園・子育て両事業の重要拠点。



谷保の里山環境を守る「東京まんなか水田 やばたん」千年続く、東京の水田を次世代へ。希少種トウキョウダルマガエルを守る「カエル里親プロジェクト」、谷保米クラフトビール「田圃にカエル」開発。



暮らしのアトリエ 藍と土



文化財、旧本田家に隣接する「アトリエ」では藍染や手仕事のWSを開催。セミナー等の場としても利用可能。コミュニティ菜園「みんな畑」では野菜や染色材料を栽培。



ゲストハウス ここたまや



学生団体「たまこまち」と協働し、2019年から民泊として、国内外からのゲストを受入れています。谷保に暮らすように滞在でき、田畑での体験も楽しめる農泊施設です。



森のようちえん 谷保のそらっこ



子どもが育つ「時間・空間・仲間」3つの間。一人ひとりの間を大切に、「楽しい」を生み出す力を育む自然遊びひろば。
対象：幼稚園児～小学生、未就園児親子
場所：くにたちはたけんぼ、周辺の公園など



放課後クラブ ニコニコ



畑・生き物・アートをテーマに活動する野外放課後クラブ。自然の中でのびのび過ごし、子ども自身が発見し創造する力を育みます。
対象：小学生
場所：くにたちはたけんぼ



フリースペース はたけんぼ



「安心できるつながりを、自分のペースで」家庭・学校以外に安心して過ごせる「第3の居場所」として平日の午前に活動を行なっています。
対象：日中の居場所を探している方(子ども～大人)
場所：くにたちはたけんぼ



「くにたち農園の会」に期待すること

国立市長 演 濱崎 真也

国立市の魅力の1つに、市の南部地域に貴重な農園や水田が残されていることが挙げられます。そのような中、「くにたち農園の会」の皆様は大人から子どもまで、様々な地域にお住いの多くの方々に農業に触れる機会を創出されてこられました。その活動は多くのメディアなどにも取り上げられると共に、SNSなどの発信をつうじて、国立市の魅力を世界中にPRすることにもつながっています。今後も機動力の高い貴会の挑戦に期待をしております。



松橋卓司さん
(株)メトロール代表
大人田んぼ参加者

大人も子どもも、素足で田植え、虫、蛙、蛇と戯れ、自分たちで育てた米を焚火で炊いて、焼き芋をかじれば、心にスペースが産まれ、大いなるものに繋がれる。笑。そんな空間を、東京に用意してくれている「くにたち農園の会」を応援しています！



和久倫也さん
WAKUWORKS(株)
代表

国立～谷保の風土に根ざしながら、地域内外の多様な世代の人々～虫や鳥、動物達との農的な活動、素晴らしいです。谷保に住み始める人、谷保に通う人が最近増えてきているように感じます。今年は僕も国立～谷保の農的な活動により参加したいと思っています。



西野耕太さん
西野農園
代表

「くにたちはたけんぼ」は、東京でも貴重な田んぼがある国立市で、親子田んぼ体験などお米作りの大切さを伝えることができる素晴らしい場所です。今後も、頑張ってください！子どもたちに伝えていって下さい！！



加藤香さん
フリースペースはたけんぼ
参加者の保護者

学校に馴染みづらい我が家の子供たち。はたけんぼで土や葉っぱや生き物たちに元気を分けてもらい、ゆっくり自分と向き合うことで、「今の気持ち」と相談しながら、学校に行く日、はたけんぼで元気チャージする日を上手に選択できるようになりました。「信じて待つ」を教えてくださいましたスタッフのみなさまに感謝！



かわさきさん
つちのこひろば
利用者

「畑びより」「城山公園での焚き火」など親子で楽しめるイベントがあり、スタッフさんがこどもの成長と一緒に見守ってくれます。スタッフさん手作りのおもちゃも、こどもは大好きです。量の部屋から見える自然の景色に癒され、色々な親子と繋がりをもてる大切な居場所です。



小島ゆりさん
認定子ども園
かえるの森 保護者

かえるの森では、子どもも大人も皆が自然体でいきいきと過ごしています。皆が自分を大切にしながら共に過ごす中で自分らしさが育まれていくのだと思います。わが子だけでなく、一人ひとりの成長を皆で喜び合えるこの環境に感謝しています。

自然の中に飛び出そう 旅するがっこう



国立の身近な自然から飛び出し、北海道で森づくり、島々でダイナミックに海を満喫など、各地の大きな自然をフィールドに多様な体験を仲間と一緒に楽しみます。
対象：企画による





立春 2/4-2/18

鬼は外、福は内！
寒い冬はおうちで味噌づくり
畑では、堆肥の仕込みや
畑の寒起こしで春の準備



大寒 1/21-2/3

北風びゅーびゅー
焚き火ばちばち
焼き芋、焼きもち
マシュマロ、お汁粉
美味しいもので
あたたまろう



小寒 1/5-1/20

春の七草、言えるかな？
せり、なずな、ごぎょう
はこべら、ほとけのざ
すずな、すずしろ
はたけんぼの畦で
七草を集めよう



冬至 12/21-1/4

谷保の稲わらで
しめ縄づくり
大人も子どもも
自分で作るしめ縄で
新しい1年を迎えます



大雪 12/7-12/20

大根、よいしょー！
土の中で大きくなった
大根やかぶなどの冬野菜は
今年最後の収穫期



小雪 11/22-12/6

ほかほか、ゆらゆら
かまどごはんの湯気
はたけんぼの新米を
感謝を込めて
「いただきます」



雨水 2/19-3/4

やばろじの梅が開花
紅白のお花に
春の鳥たちが集まって
お庭はにぎやか



啓蟄 3/5-3/21

ヒキガエルの産卵
畑ではじゃがいもの作付け
春はすぐそこ！



春分 3/21-4/4

田んぼを耕運
後ろでムクドリが
土から出てくる虫を
狙っているよ



清明 4/5-4/19

子ども園にかわいい
3才さんが入園する頃、
畑ではよーいどん！で
夏野菜を作付け



穀雨 4/20-5/4

大地に注ぐ恵みの雨
スクスク育つ野菜の間から
ダルマガエルが
こんにちは



立夏 5/5-5/20

種もみを蒔いて
お米づくりのスタート！
畑ではさつまいもの植付や
よもぎ餅づくりも



小満 5/21-6/5

黄金色に実った小麦を収穫
収穫後の畑に水が入り
代かきすれば小麦畑が
田んぼに早がわり



芒種 6/6-6/21

田植えの前の田んぼで
どろまみれ！大人も
子どもも思いっきり
どろんこになって
遊びます



夏至 6/21-7/6

桑の木の葉が茂る頃
お蚕さんの飼育も
始まります
おうちでも養蚕を
楽しめます



小暑 7/7-7/22

笹の葉さらさら
子どもたちは
短冊に願いごと
畑では夏野菜が
収穫のピーク



大暑 7/23-8/7

みんな畑で育てた藍
刈りたての葉で染めると
すっきり涼やかな
ターコイズブルーに



立秋 8/8-8/22

はたけんぼの夏は
用水にドボン！
ザリガニ、カエル、
オイカワ、ハヤ
用水の生き物たちも
元気いっぱい



く に たち 農 園 の 会 の 1 年 を



いよいよ稲刈り！天日干しして、お日様の力でおいしくな～れ

二十四節気で見てみよう！



かんかん照りの太陽に青い稲穂。ひんやり冷たい用水は生き物たちの楽園

立冬 11/7-11/21

ガラガラガラ！
昔ながらの
足踏み式
脱穀に
挑戦



霜降 10/24-11/6

畑でハロウィン
かぼちゃをくり抜いて
ランタンづくり



寒露 10/8-10/23

ざっくざっくとお芋ほり
掘ったお芋は焼き芋
味噌汁、秋冬のおやつ



秋分 9/23-10/7

中秋の名月、陽が落ちる秋の空
東に昇る月をはたけんぼの
土管の上から眺めよう



白露 9/8-9/22

綿を収穫してわた紡ぎ
大根、白菜、カブなど
秋野菜の植え付け



処暑 8/23-9/7

お蚕さんの羽化
真っ白な繭から
ふわふわの
カイコが登場

